

「身体でみる異文化の世界 —音で伝える、色を創る、心に触れる—」

講師

広瀬浩二郎 さん
(国立民族学博物館准教授)



オースティンの彫刻庭園で彫刻作品に触れる広瀬さん

広瀬さんからのメッセージ

盲学校で会得した単独歩行の極意。大学の居合道部で経験した「見えないもの」を想像・創造する豊かな可能性。そして「ユニバーサル・ミュージアム」(だれもが楽しめる博物館)をめざす現在の活動。「視覚を使えない」障害を「視覚を使わない」自由に変換するためには、どうすればいいのか。そんなエキサイティングな研究と実践を続けてきたのが僕の半生です。

今回は「視覚を使わない」宗教・芸能者として活躍した琵琶法師や瞽女の歴史、および僕自身の米国・シカゴでの在外研究のエピソードなどを紹介しつつ、「身体でみる異文化」の魅力についてお話したいと思います。音で伝え、色を創り、心に触れる。聴いて、感じて、触発される講演会になれば幸いです。

日時:平成26年5月 17 日(土) 14時30分から16時

会場:大阪府立中央図書館 ライティホール

定員:380 名(要事前申し込み)※くわしくは裏面をご覧ください。

受講料:500 円

講師プロフィール

広瀬浩二郎 (ひろせ・こうじろう)

1967 年、東京都生まれ。13 歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000 年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。01 年より国立民族学博物館に勤務。現在は民族文化研究部・准教授。13 年 8 月から 14 年 3 月まで、シカゴ大学の客員研究員として米国に滞在。

主な著書に以下のようなものがある。

【単著】『障害者の宗教民俗学』(明石書店、1997 年)『さわる文化への招待』(世界思想社、2009 年)

【編著】『万人のための点字力入門』(生活書院、2010 年)『さわって楽しむ博物館』(青弓社、2011 年)

【共著】『さわっておどろく!』(岩波ジュニア新書、2011 年)